

編集後記

いま「表現の自由」を巡って世界各国で重大な出来事が進行中です。もちろんテロは許されることではありませんが、自分と異なる信仰を持っている人々の信仰の対象を侮辱することも容認できるものではありません。日本ではかつて、深沢七郎の小説「風流夢譚」が皇室を侮辱しているとされて殺人事件が起きました。この事件は教訓になります。私たちはキリストとして現れた神を信じぬきながら、それが独善に陥らないことを求めています。(井上 豊)